

<https://kiso-cloud.com/>

Kiso-Cloud[®]

geotechnical & geospacial SaaS



試料ビン&箱ラベル作成サービス

ラベルライター(柱状-BASE/Win にバンドル)の後継サービス...

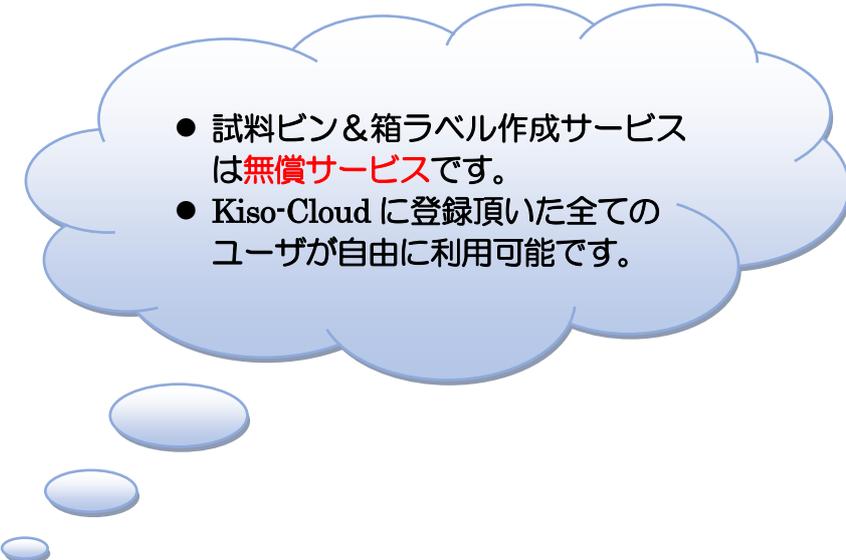
指定されたボーリングデータから、[試料ビン][土質標本箱]ラベルを MS Excel (マイクロソフト・エクセル) 形式で作成しダウンロードします。

- お手持ちのボーリングデータ ([CALS 電子納品]ボーリング交換用・柱状-BASE・岩盤柱状-BASE) が対象となります。
- Excel を使用することで[使いやすさ]と[自由度の高い編集操作 (データ/印刷位置/表示項目/表示順/フォント/サイズなど)]とを両立しています。

目次

1. サービスの全体像..... 1
2. ボーリングデータの指定..... 2
3. 指定および編集..... 2

The screenshot displays an Excel spreadsheet with data organized into tables. The top section, labeled '試料ビンラベル', contains three columns of data for sample bins. Each column lists investigation name, location name (NL240), depth, soil name (sand/silt), N-value, and sampling date. The bottom section, labeled '土質標本', contains two columns of data for soil samples, listing investigation name, location name, depth, and sampling date. The spreadsheet is shown in a window titled 'LW20160108191940.xlsx - Excel'.

- 
- 試料ビン&箱ラベル作成サービスは無償サービスです。
 - Kiso-Cloud に登録頂いた全てのユーザが自由に利用可能です。

試料ビン&箱ラベル作成サービス・操作マニュアル

Ver.1.0.0 2016/01：サービス提供開始

Ver.1.1.0 2018/01：CALS4 形式 (BED0400.DTD) に対応・N 値費入量単位 (cm・mm) 選択

発行所 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 Kiso-Cloud 事務局
〒136-8577 東京都江東区亀戸 1-5-7 錦糸町プライムタワー12 階

問合せ先 e-mail：kiso-cloud@kiso.co.jp

1.サービスの全体像

指定されたボーリングデータから、[試料ビン][土質標本箱]ラベルを MS Excel (マイクロソフト・エクセル) 形式で作成しダウンロードします。

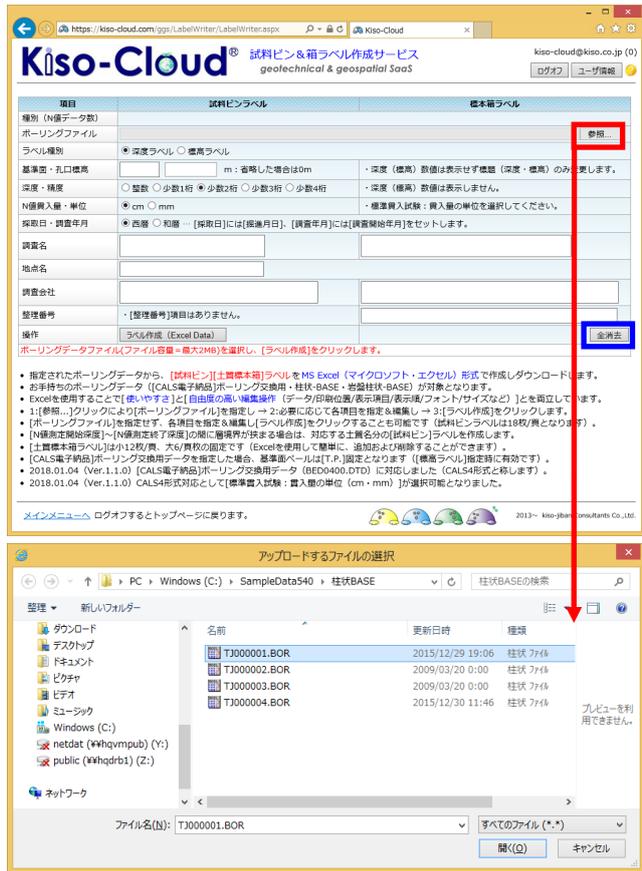
- お手持ちのボーリングデータ ([CALIS 電子納品]ボーリング交換用・柱状-BASE・岩盤柱状-BASE) が対象となります。
- Excel を使用することで[使いやすさ]と[自由度の高い編集操作 (データ/印刷位置/表示項目/表示順/フォント/サイズなど)]とを両立しています。
- 1:[参照...]をクリックにより[ボーリングファイル]を指定し → 2:必要に応じて各項目を指定&編集し → 3:[ラベル作成]をクリックします。
- [ボーリングファイル]を指定せず、各項目を指定&編集し[ラベル作成]をクリックすることも可能です (試料ビンラベルは 18 枚/頁となります)。
- 2018.01.04 (Ver.1.1.0)
 - [CALIS 電子納品]ボーリング交換用データ (BED0400.DTD) に対応しました (CALIS4 形式と称します)。
 - CALIS4 形式対応として[標準貫入試験: 貫入量の単位 (cm・mm)]が選択可能となりました。

The diagram illustrates the service workflow. It starts with data files (.BOR and .GAN) and a 'ボーリング交換用データ' (Borehole Exchange Data) XML file. These are processed through the 'Kiso-Cloud' web interface, which allows users to select data and create labels. The interface includes a table for selecting data and a form for specifying label details. The final output is an Excel spreadsheet containing the generated labels.

The screenshot shows an Excel spreadsheet with columns for borehole data and label creation options. A callout box labeled '試料ビンラベル' (Sample Bin Label) points to the label creation options. Below the spreadsheet, there are two examples of label templates: '標本箱ラベル(小)' (Small Sample Box Label) and '標本箱ラベル(大)' (Large Sample Box Label).

2.ボーリングデータの指定

- ① [参照...]をクリックすると、[アップロードするファイルの選択]ダイアログが表示されるため、使用したいボーリングデータを選択し[開く]をクリックします。
 - [CAL5 電子納品]ボーリング交換用・柱状・BASE・岩盤柱状・BASE データを選択できます。
 - [CAL5 電子納品]ボーリング交換用の旧 Ver.を指定した場合は、Ver.3.00 に変換して処理します。
 - [ボーリングファイル]に指定されたファイル名を表示します（この時点でファイルをKiso-Cloudにアップロードするため、少し時間がかかります）。
 - 指定されたボーリングデータから[種別 (N 値データ数)] [調査名] [地点名] [調査会社] [基準面・孔口標高]を読み取り、ページ内に表示します。
 - [全消去]をクリックすると、全ての指定が取り消されます。



3.指定および編集

作成するラベル種別（深度/標高）、[調査名][地点名][調査会社]等の表示項目を入力および指定し、[ラベル作成 (Excel Data)] をクリックします。

調査名	平成××年度 〇〇川水系堤防点検調査業務
地点名	NL100
深度	3.15 m ~ 3.45 m
土質名	盛土 (シルト質砂)
N 値	19 回 / 30 cm
採取日	2004年4月17日
基礎地盤コンサルタンツ株式会社	

調査名	平成××年度 〇〇川水系堤防点検調査業務
地点名	NL240
標高	TP -18.2360 m ~ -18.5360 m
土質名	盛土 (砂質シルト)
N 値	3 回 / 30 cm
採取日	平成16年4月16日
基礎地盤コンサルタンツ株式会社	

…指定されたボーリングデータから表示

土 質 標 本			
調査名	平成××年度 〇〇川水系堤防点検調査業務	標本番号	
地点名	NL240	調査年月	2004年4月
深 度	~		
基礎地盤コンサルタンツ株式会社			
業務番号: 1234567			

土 質 標 本			
調査名	平成××年度 〇〇川水系堤防点検調査業務	標本番号	
地点名	NL240	調査年月	2004年4月
深 度	~		
基礎地盤コンサルタンツ株式会社			
業務番号: 1234567			

- ① ラベル種別として[深度ラベル]あるいは[標高ラベル]を指定します。
 - [標高ラベル]を指定した場合は、[基準面（ペール）・孔口標高（省略時=0）]を入力します。
 - [標本箱ラベル]では、深度（標高）数値は表示せず標題（深度・標高）のみ変更します。
- ② [試料ピンラベル]での深度（標高）数値の少数桁数を指定します。
 - [標本箱ラベル]では、深度（標高）数値は表示しないため、本指定は無効です。
- ③ 標準貫入試験：貫入量の単位（cm・mm）を選択します（2018.01.04 Ver.1.1.0~）。
- ④ [採取日]および[調査年月]の表示形式（西暦・和暦）を指定します。
 - [採取日]は[試料ピンラベル]の項目であり、N 値測定終了深度の直下の [Q1:掘削工程（CALS データの場合）] あるいは[掘進月日（柱状および岩盤柱状-BASE データの場合）]情報をセットします。
 - [調査年月]は[標本箱ラベル]の項目であり、[調査開始年月]をセットします。
- ⑤ [調査名]を入力します。
 - [試料ピンラベル]と[標本箱ラベル]では表示幅および文字表示位置（左寄せ・センタリング）が異なるため、別々に入力します。
- ⑥ [地点名]を入力します。
 - [試料ピンラベル]と[標本箱ラベル]とで共通指定となります。
- ⑦ [調査会社]を入力します。
 - [試料ピンラベル]と[標本箱ラベル]では表示幅が異なるため、別々に入力します。
- ⑧ [整理番号]を入力します。
 - [標本箱ラベル]専用の項目であり、[調査会社]欄の右下付近に表示します。



- [N 値][貫入量][開始深度]のいずれかが未入力の場合は、[資料ピンラベル]作成対象外となります。
- [N 値測定開始深度]~[N 値測定終了深度]の間に層境界が挟まる場合は、対応する土質名分の[試料ピンラベル]を作成します。
- [土質標本箱ラベル]は小 12 枚/頁、大 6/頁枚の固定です（Excel を使用して簡単に、追加および削除することができます）。
- [CALS 電子納品]ボーリング交換用データを指定した場合、基準面ペールは[T.P.]固定となります（[標高ラベル]指定時に有効です）。

- ⑨ 各項目（①~⑧）を入力および指定し、[ラベル作成（Excel Data）]をクリックします。
 - 入力および指定に基づきラベルを MS Excel データとして作成しダウンロードします。
 - 使用するブラウザにより、ダウンロードデータの取り扱いについて表示される場合は、[ファイルを開く]あるいは[保存]をクリックします。
 - インターネットからダウンロードしたファイルを Excel で開いた場合、セキュリティ警告が表示された場合は、[編集を有効にする]をクリックします。
 - Excel を使用することで自由度の高い編集操作（データ/印刷位置/表示項目/表示順/フォント/サイズなど）を簡単に実施することができます。

